

にぎわい

～日本海にぎわい・交流海道ネットワーク通信～ 平成17年7月号

Vol. 85

秋田・酒田地区に『みなとオアシス』が誕生！	1
「秋田港海の祭典」がいよいよ間近に	7
小さな水族館の世界一	8
名勝「仏ヶ浦」！	10

秋田・酒田地区に『みなとオアシス』が誕生！

～東北の“みなと”の賑わい・交流スポット7箇所が『みなとオアシス』に～

みなとオアシス誕生！

“港”と聞いて何を思い浮かべますか？

コンクリート製の無機質な岸壁や防波堤？それともモクモクと煙がたなびく工場？
何となく、工業的なイメージを強くお持ちの方が多くはないでしょうか...しかし、港には訪れる方が幸せな気持ちになれる多くの“交流スポット”があります。

“みなと”は古くから「ひと」や「もの」が行き交う交流の拠点として賑わってきました。東北の日本海地域についても江戸時代に「北前船」の往来により大阪をはじめとする日本各地との海上交易が盛んになり、ますます人々や地域が活気を帯びました。今でも港は食などの生活物資を届け、私たちの暮らしを支えるとともに、心に潤いを与えてくれます。何気なく港から海を眺めると癒される...という方もいらっしゃるのではないのでしょうか？

7月18日(海の日) 秋田港・酒田港周辺にある人々が「憩い」「集い」「潤える」交流空間を国土交通省東北地方整備局が「みなとオアシス」に認定しました！みなとオアシスは、東北の他地域にも5箇所(計7箇所)誕生しました。



みなとオアシスのシンボルマーク(標章)

“緑の箱”は関連施設、その中の“i”の文字はインフォメーション(information)や人の親しみ、“波”は海洋を表しています。



みなとオアシスには何があるの？

情報

- ・地域情報や観光情報を得ることができます。観光案内版・各種パンフレットなどから情報を集め、イベントへの参加や観光名所巡りなどの旅行計画を立てるのに役立ちます。

休憩

- ・駐車場や飲食施設がありますので、ちょっとしたトイレ休憩・お食事にもご利用いただけます。

交流

- ・広場や会議室等もありますので、地域の方々との交流集会やレクリエーション等にご利用いただけます。

地域特性

- ・海産物等の地域特産物の販売などがありますので、その地ならではの“食”を堪能できます。また、時期によっては地域祭り等の各種イベントが催されます。その地を愛する方々と触れ合い、地域の観光地や名物などのお話を聞くことができます。



みなとオアシスあきた

～近未来的なタワーから望む日本海 360°の大パノラマ～

秋田港近くを訪れると真っ先に目に飛び込むのが、シンボルタワー「セリオン」。全高143m・ガラス張りの近未来的な姿がそびえ立つ。また、地上100mの展望室からは、市内一円、北部に位置する男鹿半島や白神山地が一望できます。特に日本海に沈む夕日の眺めは正に絶景。地上96mにある喫茶・軽食施設では、家族や友人と食事・会話をしながら、夕日を眺めることができ、会話に一層の花を添えることでしょう。沈む夕日の眺望の後には、暗闇の中幻想的に光り輝く外観も見られます。一日の中で移り変わる様々な“顔”をご覧ください。また、1Fセンターホールではフリーマーケット等の各種イベントが催され、地域の方との交流も楽しめます。

隣接する「セリオンリスタ」は、ガラス張りの屋内緑地。水のせせらぎと緑色に生い茂った樹木の香りが一年中館内に広がる。また、軽スポーツなどに利用できる

「セリオンプラザ」もあり、仲間とのスポーツ交流・サークル活動等目的に応じて、様々にご利用いただけます。屋外にあるイベント広場においても、春から秋にかけて様々なイベントが催され、家族連れなど訪れる方々で「みなとオアシスあきた」が賑わいをみせています。



秋田港のシンボルタワー「セリオン」
朝・夕・夜と移り変わる様々な表情に思わずウットリする。



(上) 全面ガラス張りの屋内緑地「セリオンリスタ」
(左) セリオンリスタ内。楽しく遊ぶ子ども達の声が今にも聞こえてきそう。



(左) 平成17年6月に寄港した大阪市の帆船「あこがれ」と「セリオン」

(上) 秋田港海の祭典の様子

アクセス



公共交通機関

鉄道：JR土崎駅より
徒歩約25分

バス：JR秋田駅より
中央交通バス（セリオン線）
乗車、セリオンバス停下車

自家用車

秋田自動車道秋田北ICより
約15分

お問い合わせ

秋田市 商工部 港湾貿易振興課
Tel 018-866-2164

主な施設

シンボルタワー「セリオン」

全高143m。秋田港のシンボルタワーとしてそびえ立つ。

- < 観光案内ブース > < 研修室（250人収容・120人収容・100人収容、各1部屋） >
- < 地元名産品等を販売する土産物屋 > < レストラン2店舗 > < 軽食1店舗 >
- < 展望施設（高100m） > < ギャラリー >

セリオンリスタ

ガラス張りの屋内緑地公園。ちょっとした遊具施設もあり。 < 公園 >

セリオンプラザ

会議や軽スポーツなど多目的に利用が可能な施設。

- < 研修室（500人収容・100人収容、各1部屋） >

イベント広場

秋田港海の祭典や中古車市など各種イベントが催される広場。 < 観光案内版 > < 公園 >

開催される主なイベント

- 秋田港海の祭典（7月下旬） 屋台村、納涼ショー、花火大会など。
- 市民フリーマーケット（8月下旬） 市民参加のリサイクル・リユース広場。
- みなと粋・活フェスティバル（10月中旬） 輪投げ、射的など多数出展。
- セリオン館内イベント（年中無休開催） 毎月開催のフリーマーケットやイベント。
- 中古車市（春～秋にかけて不定期） イベント広場にて多数出品。



みなとオアシス酒田

～古き良き時代の名残が点在する湊町の賑わいを感じて～

古くから山形県を温かく見守り続け、人々に恩恵を与えてきた最上川の河口に位置する「みなとオアシス酒田」。平成15年にオープンした「さかた海鮮市場」の2F食事処では、鮮魚を惜し



(上) さかた海鮮市場1Fウッドデッキから。離島「飛鳥」と繋ぐ定期船「ニューとびしま」が入港したようだ。下船する方々は自然と触れ合えたことで、豊かな表情を覗かせる。

げもなく使った食事を楽しめます。そこから時折眼下に浮かぶ船。それは、春の到来を告げるウミネコの繁殖地として有名な離島「飛鳥」へと人々を運ぶ定期船「ニューとびしま」。そんな港ならではの光景を見ながらの食事も一つの楽しみ。1Fに降りると、庄内浜で水揚げされたばかりの鮮魚が販売されているので、更に家庭でも美味しい魚介類を満喫できることでしょう。

また、“海の博物館”として親しまれる「酒田海洋センター」には、湊町酒田の海運の歴史などを伝える写真や、かつて庄内米を江戸に運ぶなどで活躍した千石船の模

型が展示されており、古き時代の酒田に思いを馳せ海に関する知識を広めることができます。また、展示物の一つである実物大の船の操舵室模型で、実際に舵を手に取り計器を確認すれば気分は船長さん。お子さまでも楽しく学習できます。学んだ後は「船場町緑地」へ。子供が楽しめる遊具、スケートボード広場等で潮風を感じながら遊び、芝生の上で海を眺めながらの散策が楽しめます。また、歴史的遺物が点在する「日和山公園」からの眺めも楽しみたいところ。

少し足を伸ばすと、明治時代に米蔵として建造され今も残る「山居倉庫」・酒田夢の倶楽、本間家旧本邸、相馬樓など湊町・酒田の風情が所々で味わえます。「みなとオアシス酒田」とその周辺を訪れ、古くから続く湊町の賑わい・文化を感じてください。



(上) 船場町緑地。散策する方々の楽しげな笑い声が、潮風に乗って広がる。



(左) さかた海鮮市場に隣接する定期船発着所、酒田海洋センター。

(上) さかた海鮮市場2F食事処



(右)千石船の堂々とした佇まいが歴史的風情を感じさせる日和山公園。
(下)日和山桜まつりの様子。



アクセス



公共交通機関

JR酒田駅より酒田市営るるんバス(県立日本海病院行き、丸沼行き、大淵会館行き、かんぼの郷行き)乗車、さかた海鮮市場前バス下車

自家用車

山形自動車道酒田ICまたは酒田みなとICより15分

お問い合わせ

酒田市 商工観光部 商工港湾課
Tel 0234-26-5758

主な施設

さかた海鮮市場 1Fには庄内浜で水揚げされたばかりの魚介類が並ぶ鮮魚店、眼下に広がる酒田港を眺めることが出来るウッドデッキがある。また、2Fの食事処では鮮魚を使ったおいしい食事を楽しめる。<観光案内ブース><海産物等の土産物屋><レストラン1店舗>

定期航路事業所 離島「飛島」と酒田港を繋ぐ定期船「ニューとびしま」の発着所。

<観光案内ブース・案内版><旅客船(飛島)>

事業所隣からは、遊覧(屋形)船「みづき」が運航しており、山居倉庫などを眺めながらランチやディナーを楽しみ幾つもの橋をくぐりぬけながら、新田川を進みます。

酒田海洋センター “海の博物館”として親しまれ、海に関する知識を広めることができる。

展望室からは日本海を一望できる。<博物館><展望施設>

船場町緑地 遊具など子供が楽しめる施設がある緑地。<公園> **交流広場<公園>**

日和山公園 西廻り航路を開拓し酒田繁栄の基礎を築いた河村瑞賢の像や木造灯台、方角石などが点在し、港町の歴史や風情が漂う公園。<観光案内版><軽食4店舗><公園><展望施設>

開催される主なイベント

酒田日本海寒鰯まつり(1月下旬の土曜) 寒鰯解体実演、寒鰯汁販売など。

日和山桜まつり(4月中旬～下旬) 日和山公園内でのイベント。露店

酒田港夕陽クルーズ(7～8月の土曜日) & **乗船ウォッチング**(7月最終日曜日)

定期船「ニューとびしま」によるクルーズや体験乗船など。

海上保安庁巡視船「とね」体験航海(7月下旬の日曜日) 巡視船による体験航海など。

監督測量船「みずほ」の海上クルージング(7月下旬) 酒田港から加茂港までのクルージング。



その他東北各地に誕生したみなとオアシス紹介

～ ちょっと足を伸ばして出掛けてみませんか～

みなとオアシスみやこ



タラソテラピーで
リラックス。

お問い合わせ
シートピアなあと
((株)宮古地区
産業振興公社)
Tel: 0193-71-3100

国道45号と106号の結節点に位置し、宮古港出崎埠頭に立地。タラソテラピー(海洋療法)施設は、海水を活用した健康増進・リラクゼーション・美容のためのプログラムを提供する健康づくりの拠点であり、更には、施設に隣接して緑地公園が整備され、利用者の憩いの場となっている。

また、広域総合交流促進施設には、新鮮魚介類・山里の幸や匠の技を取り揃えた物産販売コーナーや四季折々のメニューを提供するレストランもあり、地域の交流拠点となっている。

みなとオアシス 八戸海のステーションたてはな



「海の日曜朝市」
の賑わい

お問い合わせ
NPO法人
海の八戸NPO
Tel: 0178-35-4370

八戸港の中心部に位置する。目の前では、全国屈指の漁船集積地である館鼻漁港が活気をみせ、また、館内の直売所には、魚介類をはじめとする地場産品などが並び、

日曜日の早朝には南側の岸壁において「海の日曜朝市」が開催され、新鮮な魚介類・農産物・衣類・雑貨など合計約400軒もの店が出店し、多くの方で賑わう。周辺には天然記念物「蕪島」や「種差海岸」など景勝地があり、八戸の観光拠点としても利用される。

もぐらんぴあみなとオアシス



トンネル水槽にしていると自分が魚になったみたい

岩手県の沿岸北部にある久慈港の北側に位置する。国家石油備蓄基地建設時の作業用トンネルを利用した日本で最初の地下水族館「もぐらんぴあ(久慈地下水族科学館)」が中心施設。「トンネル水槽」に入ると、まるで海中にいるよう。また、産直施設、レストランを併えた久慈市産地形成促進施設や、24時間利用可能なトイレが隣接しており、休憩場所としても利用可能。

お問い合わせ
久慈市
産業振興課
Tel: 0194-52-2111

いわき小名浜みなとオアシス

小名浜港の東西の端に位置し、東側は1・2号埠頭地区、西側は剣浜地区と呼ばれ、1・2号埠頭地区には、いわき市の観光と物産を一堂に会する「いわき・ら・ら・ミュウ」、黒潮と親潮の出会いをテーマとする海洋・文化学習施設「アクアマリンふくしま」が立つ。この両施設を結ぶのは親水空間「アクアマリンパーク」。また、剣浜地区には、マリッジの拠点「いわきサンマリーナ」がある。

1・2号埠頭地区で夏休み期間中に行われる「いわき港まつり」は、いわき市の一大イベントの一つ。海上から打ち上げられる花火や花火の音と音楽が奏でるシンフォニーは必見。

お問い合わせ
いわき市 みなと課
Tel: 0246-22-7417



夕闇に佇む「アクアマリンふくしま」と「いわき港まつり」の花火

みなとオアシス・マリゲート塩釜

マリゲート塩釜は旅客ターミナル施設。観光棧橋からは日本三景松島への遊覧船や浦戸諸島への定期船が運航している。

館内には、観光船の乗船案内や塩釜の観光名所、祭り、イベントなどの情報を紹介するスペースのほか、地元特産品を扱う観光物産店や魚市場直送の食材を活かしたレストランや寿司屋なども並び、塩釜ならではの旅心地を満喫することができる。



マリゲート塩釜。
様々なイベントも催される。

お問い合わせ
塩釜港開発株式会社
Tel: 022-361-1500

お出掛け前にコチラをチェック!



各みなとオアシスの詳細情報はホームページでも紹介しております。

<http://www.minato-oasis.com>

ホームページで情報をキャッチして、お気に入りの「みなとオアシス」へ出掛けよう!

当サイトは携帯電話からもご覧頂けます。右記のQRコードを読み取ると簡単にアクセス出来ます。



ホームページではアンケートを実施しておりますので、ご協力の程お願い致します

【秋田県秋田市】

秋田港海の祭典「がいよいよ間近に



「秋田港海の祭典」は、平成17年7月30日(土)・31日(日)と2日間にわたりセリオン前イベント広場において開催されます。

この祭典は、秋田市の夏の恒例行事として地元住民のみならず大勢の市民に周知され、港湾関連各種団体の協力を得て、祭典実行委員会や地元住民の熱意と創意工夫で長年継続されております。

サマーナイトページェント(前夜祭)

前夜祭(7月30日)は、サマーナイトページェントとして、港周辺に大勢の人達が集う中、夜空と海面を美しく彩る「港花火大会」が華々しく打ち上げられます。

また、普段はなかなか市民と触れ合う機会が少ない秋田海上保安部巡視船「ちょうかい」、男鹿海洋高校の実習船「船川丸」の一般公開や体験乗船があったり、「港の納涼ショー」では小学生による港囃子、民謡などが披露されるなど、各種イベントが盛り沢山です。夜になると船にはイルミネーションが点灯され、港の夜景を一層魅力的に演出します。



(上) 夜空に咲く大輪の花と秋田港のシンボルタワー「セリオン」



マリンフェスティバル

7月31日は、実習船や巡視船の歓迎セレモニー終了後、海上保安部による水難救済の模様や、マリンフェスティバルとして、体験航海やウィンドサーフィン、カヌー、水上オートバイといったマリンスポーツのデモンストレーションなど、楽しい企画が催されます。

夏休み期間中ともあって、若者や親子連れなど大勢の市民が集まり、秋田港のシンボルタワーであるセリオン周辺の賑わい創出に大きく貢献しています。

(左) マリンスポーツのデモンストレーションは迫力満点!

秋田港貿易フェア、農畜産物直売地産地消コーナー

両日に行われる秋田市協賛の行事としては、「秋田港貿易フェア」と「農畜産物直売地産地消コーナー」があります。

「秋田港貿易フェア」は、ガーデニング用品、おもちゃ、雑貨など輸入品の展示・販売をとおり、秋田港を利用しての輸出入品の販路拡大につなげていこうとする事業です。

「農畜産物直売地産地消コーナー」は、市内の地元農家による朝採り新鮮野菜や青果などの販売をとおして、地産地消を推進していこうとする事業です。

いずれの出店も、訪れる人たちの人気を呼んでいます。



(上) 人々で賑わうイベント広場

【山形県鶴岡市】

小さな水族館の世界一

鶴岡市立加茂水族館

鶴岡市立加茂水族館は、加茂港から車で数分の距離にある小さな水族館ですが、その歴史は古く、昭和5年の水族館組合「加茂水族館」の設立に遡ります。

昭和39年に現在地に移ってから今年で40周年を迎え、開設以来、「市民の水族館」として長く親しまれてきました。

この小さな水族館に「世界一」の展示物があります。それは「クラゲ」です。

平成9年に2種類の展示を開始してから、関係者の地道な努力によりその展示数が年々数を増し、平成12年には12種類で、日本一のクラゲ水族館となりました。その後も、努力を重ね、飼育繁殖技術の向上により、現在、常設展示数は20種を数え、晴れて「世界一」のクラゲ水族館となりました。(それまではアメリカの水族館17種)

その他にも、庄内浜に生息する魚類や、淡水魚なども数多く展示されております。

魚には見られないクラゲ独特の優雅な動きや、色彩・形の豊かさを通し、「幽玄の世界」を堪能してみたいはいかがですか。



(上) キタカブトクラゲ

3/20日
リニューアル
オープン

世界一の展示へ

クラゲナトリウム館リニューアル
水槽数15→20へ増設

御礼…お隣様で何とか世界一へ
当館は平成9年に初めてクラゲの展示を子ぎけて以来、その魅力のとりことなり、1種でも多くのクラゲを展示することに努めてまいりました。
お陰様で平成12年には11→12種の展示をし、初めて日本一多くのクラゲを展示する水族館となりました。その後も努力を重ね飼育繁殖技術の向上につとめて何とか20種を常設展示出来るまでになりました。
クラゲの展示の難しさは寿命の短かさにあり、展示してからの平均寿命は4ヶ月くらいしかありません。常に次のものを用意することに追われます。大変ですが、又そこが面白い所でもあり、今後も更に多くのクラゲの繁殖を手を取り、展示の充実につとめてゆきたいものと考えております。大あくになった水槽の所で、感動の劇の高揚をお楽しみ下さい。
館長

【クラゲナトリウム館増設見取図】

増設部分
カブトクラゲ
クラゲナトリウム館増設
巨大水槽
展示水槽
クラゲナトリウム館増設
1F

※巨大水槽をはじめ、展示クラゲは変更される場合があります。

当館オリジナル「クラゲアイス」です。



コリコリ、シヨシヨとした独特の食感と風味で大人気、ご賞味ください。

お問い合わせ

鶴岡市立加茂水族館
山形県鶴岡市大字今泉字大久保
6 5 6 番地

TEL 0235-33-3036

FAX 0235-33-1129

URL <http://webs.to/kamo-a/>

加茂地区のご紹介



加茂地区（山形県鶴岡市）は、山形県の海岸線のほぼ中央に位置する、人口約1,100人の小さな港町です。

戦国時代には尾浦城（鶴岡市大山地区）の外港として軍事面で大きな役割を果たしていましたが、近世には日本海海運の商港として栄えました。特に北前船が頻繁に往来するようになると物資の集散地として繁盛し、豪壮な廻船問屋や水夫の休憩所などが立ち並んでいました。

加茂地区には、県立加茂水産高校、県水産試験場、加茂水族館があることから、山形県の海洋研究、教育施設の拠点として位置付けられております。

これら関係機関と地元自治会が連携した活動として、大漁フェスティバルや、県調査船「最上丸」の一般公開、水産高校の体験学習などが行われるなど、地域の活性化に大きく活かされております。

また、背後を山で覆われているため、海の幸と山の幸に恵まれた自然豊かな所であるとともに、天然の磯場が広がっているため年中釣り客が絶えず、夏には、海洋体験学習施設「レインボービーチ」が年間26,000人の海水浴客で賑わい、地区全体に活気がみなぎっております。



(左・上)レインボービーチ(海洋体験学習施設)



加茂港大漁フェスティバル

加茂水産高校の文化祭と合わせて開催されます。(2年おき)会場は加茂水産高校を中心に海産物の販売や大漁旗漁船やプレジャーボート試乗など海にふれ合うことのできる催しです。



【青森県佐井村】

名勝「仏ヶ浦」！

佐井村は、下北半島西側に位置し、津軽海峡に沿って南北に伸びる細長い形を有しています。東部は下北半島の商業、交通の中核を成すむつ市と隣接しており、北部に境を接する大間町、さらにその大間町と隣接する風間浦村と平成17年6月、「北通り三町村合併協議会」を設置し、町村合併に向けた取り組みが成されているところです。

目前には津軽海峡、背後に連なる山々には青森ひばの豊かな資源など、魅力たくさんの佐井村ですが、今回は名勝天然記念物「仏ヶ浦」を中心にご紹介します。



(上)名勝「仏ヶ浦」

名勝天然記念物「仏ヶ浦」

風雪厳しい津軽海峡の荒波が削り上げた大自然の造形「仏ヶ浦」は、冬の厳しい姿と、夏の穏やかな姿の両方を持っています。2kmに及ぶ奇岩の連なりは、見るものの心に様々な造形を結んでくれます。にょらい くび ごひやくらん ひとつぼとけ あやこいわ じゅうさんぼとけ かのんいわ てんりゅういわ れんげいわ じぞうどう ごくらくはま。如来の首、五百羅漢、一ツ仏、親子岩、十三仏、観音岩、天竜岩、蓮華岩、地藏堂、極楽浜などの名称がつけられ、その総称が「仏ヶ浦」です。



(左) 仏ヶ浦港

このような風致景観から、観光面が大きくクローズアップされ、観光客が急増しました。下北半島西側の津軽海峡に面した、通称「まさかり」の刃の中央部に位置する仏ヶ浦港は現在、静穏な水域を確保するため、防波堤の整備が進められているところであり、定期観光遊覧船の発着港として、名勝仏ヶ浦の観光に大きく寄与しています。今のシーズン、遊覧船からの夏の穏やかな眺めは、まさに「仏ヶ浦」の名にふさわしい、たおやかな極楽浄土の浜を感じることができるはずです。

津軽海峡文化館「アルサス」

遊覧船で仏ヶ浦の眺望をお楽しみ頂いた後は、ぜひ津軽海峡文化館「アルサス」へ！定期観光遊覧船の佐井漁港発着場のすぐ前にあり、観光物産と歴史を紹介しています。1階には観光案内所や、佐井村のひば製品などの特産物を展示即売する「ラプリーさいマート」、佐井村の紹介をはじめ下北半島の風土や文化、観光をビデオで紹介している「PR広場」などがあります。2階には、なんと本州北限の博物館「佐井村海峡ミュージアム」や、下北の新鮮な味が楽しめる食事処、そば処、喫茶店もあり、さらに3階には津軽海峡と北海道がパノラマに広がる展望室があるのです。



(上)津軽海峡文化館アルサス

「アルサス」の展望室からは、運が良ければ双眼鏡で野生のイルカを見ることができます。海峡ミュージアムでは、昔の歴史や生活を紐解く数々の展示品から、佐井村の文化と歴史を肌で感じることができます。こんな見応えたっぷりの「アルサス」に名勝「仏ヶ浦」、皆様是非、この魅力溢れる佐井村に足をお運び下さい。

【編集・問い合わせ先】日本海にぎわい・交流海道ネットワーク事務局

国土交通省 東北地方整備局 港湾空港部 総務室

TEL 022-716-0001 FAX 022-716-0017

E-mail : info-k82ab@pa.thr.mlit.go.jp